

事業所名

IT・プログラミング療育ツクルADVANCE奈良校

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		IT・プログラミング療育を通じて児童ひとりひとりが輝けるよう支援する											
支援方針		ポジティブな行動支援・論理的思考能力の開発・ICTの最大限活用											
営業時間		平日 土・祝	10 9	時 00	00	分から	18 17	時 30	30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	ライフスタイルをはじめとする生活や社会に適応出来るように 子ども第三の居場所 生活リズムについて相談											
	運動・感覚	正しい姿勢や、日常の基本動作の最適・効率化について 感覚の特性の児童に対し、認知や特性について相談や代替手段の提案等を行い、本人に合った方法の模索や環境調整等から行っていく											
	認知・行動	より良いセルフコントロールの確立を目指し、3つに分け自己認識・理解・行動へとつなげるように支援を行う 5W1H・スケジュールリング・見通す力の確立											
	言語 コミュニケーション	言語また、コミュニケーションが苦手な児童へ非言語でのコミュニケーションの確立や提案・練習 書字やコミュニケーションの難しい児童へのICTの最大限活用の提案・練習 5W1H定着カリキュラム 物ごとの理解、読解力の向上・メモを取れるように（要点をまとめる事を含む）											
	人間関係 社会性	アタッチメントの形成 人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う 空間参加や模倣から、社会性や対人関係の芽生え 個別から慣れ始め、そこから小集団へ、そして集団へと繋がりを広げていく 自己の理解とコントロール											
家族支援		相談援助の実施（随時） 専門職による悩み相談、療育サポートの体制構築 ライフスタイルや生活における課題もご相談していきます					移行支援			就労移行支援事業所・就労支援事業所との連携・相談・ミーティング 自立を目指し共に、本人の抱える不安の解消、社会的コミュニケーション を図る等の定着を目指します。 また、将来の自立に向け、ライフスタイルや適性や特性への理解・現在や 将来の生活における課題や意識付けをしていきます。			
地域支援・地域連携		学校連携・相談支援事業所連携・医療機関と連携 高校体験イベント・就労事業所への体験イベント 地域のソーシャルリソースを活用した合同イベント（学校見学・就労事業所見 学・逆に学校さんに来ていただいたの合同イベント）					職員の質の向上			事業所内研修の実施および外部研修への積極的参加 定期的な事業所内でのケース会議等の開催			
主な行事等		季節感を感じるイベント 祝日や長期休暇を利用した集団イベントの開催（e-sportsやマイクラフト、ボードゲームなどのイベント） 地域のソーシャルリソースを活用した合同イベント（学校見学・就労事業所見学・逆に学校さんに来ていただいたの合同イベント）											